

六郷満山日本遺産推進協議会

第5回 総会



くにさきガレット&ウッドプランク BBQ 阿部貴晃撮影 (左上) / 鬼んびっく PR アニメーション (右上)
富貴寺大堂のライトアップ撮影成果 栗本紗弥撮影 (左中) / 全種類揃ったラバーコースター (右中)
鬼んびっくメダル授与式・憧れのオリンピックとの写真撮影 (左下) / 新登録の鍋山 (南屏峡) 友久亮撮影 (右下)

第1号議案 令和3年度事業報告

【地方創生推進交付金関係】

1. 情報発信・人材育成事業

事業① くにさきガイド育成・戦略共有事業

これまでコンセプトや体験プログラムを構想してきた「くにさきリトリートツーリズム」の実施・販売に向けて、ガイドや体験プログラム実施事業者との連携をフォローアップする事業を実施した。

本来であれば、旅行商品の販売まで向かう予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、構築の幅を広げる戦略共有の回数を増やす対応をした。令和4年度には実販売に向けた動きを展開していきたい。

くにさきリトリートツーリズムの構築については、田染地区・国見地区をベースに地域の特徴や資源を活かしたコースを構築し、3/5-6（土-日）には実際にツアー形式で運営してみ、課題や横展開へのヒントを得るロールプレイを実施した。

また、リトリートツーリズムに関するチームロゴ（関連するプログラムが一目で分かる／組織内の取組の旗印として）及び、プログラムに関する素材動画の撮影を行った。



デバイスを使用した測定の様子



心臓ヨガの手法によるセッションの様子



田染コースの体験の様子



国見コースの体験の様子

事業② “鬼んぴっく” 情報発信事業

東京オリンピック 2020 の好機を活かしたPRとして、くにさき鬼んぴっく 2020 を企画・運営を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大により、夏頃・冬頃からイベントの中止が相次いだため、当初予定していた様々な競技が実施できなかった。

スポーツ関連（少年野球・少女バレー）の大会は、豊後高田市教育総務課・国東市社会教育課のスポーツ担当の協力を得て開催できた。特に少年野球大会は豊後高田市教育委員会・国東市教育委員会との共催での実施となった。

【競技種目及び開催日】

- | | |
|------------------------|----------------|
| ・ 鬼んぴっくエンブレム&メダルデザイン募集 | 6月25日～7月31日 |
| ・ 少年野球大会 | 11月14日 |
| ・ 少女バレーボール大会 | 11月14日 |
| ・ そば打ち昇級試験 | 11月28日、4月9・10日 |
| ・ 夢一文字コンテスト | 12月10日～翌1月17日 |
| ・ オニエンターリング | 3月 6日 |

事業としては、鬼んぴっくのデジタル宣材として

「PRアニメーション動画 (URL: <https://www.youtube.com/watch?v=Mk8dv-Xq8lk>)」「ピクトグラム」「DM用フォーマット」を作成した。

また、鬼んぴっくメダル（金100枚、銀70枚）、鬼んぴっくエンブレム入りの幟旗（100枚）、横断幕（4枚）、配布用タオル（400枚）、ポスター（50枚）を作成した。



鬼んぴっくメダル



記念品（鬼んぴっくタオル）



鬼んぴっく アニメーション



鬼んぴっくピクトグラム



蕎麦打ち段位認定会にて (11/28)



オニエンターリングにて(3/6)

くにさき鬼んびく 2020 を盛り上げるためのイベントとして、本物のオリンピックであるロンドンオリンピック 2012 バレーボール競技の銅メダリスト・迫田さおりさん、江畑幸子さんにお越しいただき、鬼んびくメダルの授与式を実施した (11/19)。



メダル授与式の会場の様子



メダル授与式の様子



国東6年選抜 (野球競技)



真玉少女バレー (バレーボール競技)

事業③ シンポジウムによる情報発信

当初は秋頃予定していた刀匠行平のシンポジウムは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が悪化したため、2月下旬に延期したが、1月に大分県にまん延防止等重点措置が発令されるなど、再度新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が悪化したため、中止となった。

2. 商品開発・収益強化

事業④ 谷のブランディング・商品開発事業

[Product 1] 国東半島うに醤油・国東半島マテ貝醤油

国東半島の海の幸を使用した無添加の醤油の開発を実施。国東半島の自然のPRにもつながるプロダクトとして企画。国の登録名勝でもある真玉海岸を守り松寄敏行さん（そばCAFÉゆうひ）と、国東の海の磯焼けを守るためにウニの養殖に取り組む栗林正秀さん・清末拓真さん（大分うにファーム）、武蔵町古市で添加物の少ない醤油をつくる西百恵さん（安永醸造）、フードコーディネーターの弘蔵周子さん（フーズテクニカルサービス）、デザイナーの越田剛史さん（Design totte）で、プロジェクトチームを結成。

醤油本体、デザイン案までを年度末までで終了させ、実際の販売はクラウドファンディングを終了させた初夏頃にスタートさせる。

【事業経過】

☆9/29（水）、キックオフミーティングを実施。商品開発の目的と方向性、販路の可能性、期間の整理を実施。プロジェクトのPRも含めたクラウドファンディングを実施することも決定。

☆11/9（火）、弘蔵氏が試作品を持参した上での現地指導。マテ貝醤油については、調理方法（出汁の取り方）の指導と、試作品に関する情報共有を実施。うに醤油については、調理方法（塩揉み・脱水方法及び保管・配送方法）の指導と、価格についての調整を実施した。全ての食材・加工の中で添加物が少なく、素材の味が生かされる試作となった。

☆12/20（月）、デザインについて調整。クラウドファンディングの原稿素案を共有。

☆2月、レシピの最終調整完了。原価決定のための食品サンプル作成。

☆3/1（火）、試作品が完成し、価格や規格を決定する会議を開催。

☆3/15（火）、CF用素材の写真撮影等。

☆3/18（金）、報告書・パッケージデザインの納品があり事業完了。

☆3/28（月）、価格設定に関する情報提供。それを受けてクラウドファンディング原稿調整。

★完了後、クラウドファンディングの記事のアップ、商品の生産・配送までのフロー確認等。

★クラウドファンディング返礼品に関する調整の実施。



現地指導の様子（11/9）



プロジェクト会議の様子（3/1）



CF用写真撮影（3/11）



国東半島マテ貝醤油パッケージ



国東半島うに醤油パッケージ

[Product 2] 鬼の郷のしあわせもちもちそば粉ガレット

リトリートフードとして開発中のくにさきガレットの材料として、豊後高田市産そば粉を使ったガレット粉を開発。小売り用・業務用に加え、飲食店のテイクアウト用の箱にも共通のデザインを使用する。今後は小売り分の販路拡大及びテイクアウト用箱の一括調達も行う予定。

開発のアドバイスは、Peace kitchen（六本木）の比嘉康洋さんに依頼。デザイン開発は unid 株式会社に依頼。

【事業経過】

- ☆12/2 (木)、豊後高田市農業振興課に聞き取り。
- ☆12/10(金)、涛音寮にて協議。ガレットを作る際の豊後高田そばの性質や、商品を作る際の方向性について協議。その後、エスポワールにてガレットの試作を実施。
- ☆12/11(土)、長崎鼻キャンプ場でガレット試作&試食。
- ☆2/14(月)、デザイン関係の調整を実施。コンセプト&商品コピーがある程度決定した。
- ☆2/22(火)、そば生産組合（そば道場）と比嘉シェフとの Zoom 協議。ガレット粉の成分・レシピについて協議。
- ☆3/17(木)、そば生産組合にブレンド方法とガレット自体の焼き方について指導。
- 3/18(金)、西大分のスタジオにて、ガレット粉のパッケージデザインに使用する写真を撮影。
- ☆3/23(水)、レシピが固まったため、菌検査・栄養分析・ルチン含有量調査を委託。
- ☆3/30(水)、パッケージデザインの完成。
- ☆3/31(木)、菌検査・栄養分析・ルチン含有量調査完了。
- ★4月～、パッケージ資材の発注。価格・販路等の調整。
- ★6月の春蕎麦解禁のタイミングでのリリース。販売開始。



キャンプ場でのガレット試作(12/11)



そば道場での指導の様子(3/17)



パッケージ撮影時のガレット (3/18)



完成したガレット粉パッケージ

【Product 3】 かぼすを使った生七味

大分県でも2番目のかぼすの産地である国東半島。くにさき発のかぼすを使用した商品が乏しく、くにさき産かぼすの有効利用策として企画。開発には Peace kitchen（六本木）の比嘉康洋さんに依頼。R4年度には販売用に製造できるように事業者への支援を継続実施する。

かぼす胡椒を生産している会社や、ある程度大型の冷凍庫を持っている事業所を探した結果、長岩屋の鬼会の里に受けてもらうことに決定した。長岩屋地区では、生七味の材料の殆どが自生・生産していることが分かり、より地元らしい食品として打ち出すことができる。

【事業経過】

- ☆10/28（木）、Zoom会議。送付したかぼすを使用した生七味の試作品到着。あろい工房、長崎鼻BKネット、鬼会の里など、開発できそうな事業所に相談。
- ☆11/22（月）、Zoom会議。12月の調理指導に関する日程調整等。長崎鼻BKネットとの調整を進める。
- ☆12/11（金）、長崎鼻キャンプ場で生七味試作&試食。
- ☆12/11（金）、長崎鼻BKネットに相談。
- ☆12/21（火）、鬼会の里に再相談。
- ☆3/17（木）、鬼会の里に調理方法を指導。材料調達に関する協議。
- ★4～9月、材料調達（実山椒、大葉、かぼす、青唐辛子、生姜、蜂蜜など）。
- ★R4年度事業での生産指導及びパッケージデザイン開発。
- ★秋頃、発売開始イメージ。



制作に関する現地指導（3/17）



かぼすを使ったくにさき生七味

【Product 4】 鬼棚（ほおずきの新パッケージ）

豊後高田市が国内最大級の生産量を誇るほおずき（鬼灯）について、新しいパッケージを開発することで、切り花の単価向上・ブランド力向上を図る。1ヶ月活けることができる鬼灯の新しい飾り方を提案することで、通常お盆の数日前ほどからしか需要のない鬼灯の新しい販路を開拓する。今後はECサイトを通じた販路拡大及び資材の一括調達に伴って利益を得る。

【事業経過】

- ☆9/16（木）、生花店・花れんの都甲さんとの協議開始。
- ☆11/11（木）、コンセプトについての事前協議。鬼灯の特性について聞き取り。
- ☆11/29（月）、「鬼棚」の提案。
- ☆翌1/11（火）、箱のデザイン案と資材費について調整。
- ☆1/15（金）、ほおずき生産者の方に仕様相談。
- ☆1/21（金）、豊後高田市農業振興課へ鬼棚について情報共有・相談。
- ☆1/25（火）、鬼棚の商品内に入れるリーフレット原稿の検討。
- ☆2/14（月）、資材費がほぼ確定。方向性について都甲さんとの協議。
- ☆3/18（金）、資材等の試作の納品。

- ★ 4月～、各生花店に作業分担のお願い回り。
- ★ 5月下旬、サンプル用ほおずきのお願い。テスト実施等。
- ★ 6月頃、クラウドファンディングの立ち上げ（7月新盆、8月盆を目掛けて）。



鬼棚（試作の箱 ※箔なし）



メインビジュアル

[Product 5] ウッドプランク BBQのフロー開発

リトリートフードとして開発中のウッドプランク BBQについて、魚介類のセットの開発と、板のオペレーション開発を行うもの。リトリートツーリズムの実走時は勿論、既にカルチャーツーリズムのメニューにも加えて実施している。

【事業経過】

- ☆12/10（金）、冷凍の地魚などの供給について、サンウェスタンからの聞き取り。
- ☆12/11（土）、ウッドプランク BBQ試作&試食。
- ☆12月、R3開発のカルチャーツーリズムの実販売のツアーでの提供決定。
- ☆翌 1/12（水）、長崎鼻ビーチリゾートでの提供に際するオペレーション等について FoundingBase と協議。3月上旬実施のカルチャーツーリズムで試験導入することで進めることに。
- ☆1/15（金）、材木についての市場調査。
- ☆1/20（木）、材木仕入れに関する協議。
- ☆3/5（土）、カルチャーツーリズムの食事メニューでテスト販売実施予定もコロナで中止に。



ウッドプランク BBQの試作（12/11）



ウッドプランク BBQの試作（12/11）

【Product 6】国東ジビエのボロネーゼ開発

国東半島らしい食品として、国東市国東町富来（藁蓑地区）では、ブランド名「藁と蓑」を創設し、ジビエ（鹿肉）の開発に取り組んでいる。

今回はジビエ肉の消費拡大のために、お土産品にも丁度良いパッケージの商品を開発する目的で、「国東ジビエのボロネーゼ」のレシピ及びパッケージデザインを開発した。



【文化庁日本遺産推進交付金（R2年度繰越）】

事業⑤ 首都圏でのストーリーブック発信事業

平成30～令和元年度に作成したストーリーブック『くにさきの鬼』は、日本遺産ストーリーや地域文化のエッセンスをより摂取しやすく、絵本という美しいメディアでリデザインしたもので、地域文化×メディアを掛け合わせた取組となった。

令和2年度には新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況から、東京での発信事業の実施は難しくなり、令和3年度事業に延期とした。

令和3年の後半にかけて新型コロナウイルス感染症の新規感染者が激減したことから、12/4～10（土～金）にかけて、八王子オクトーレ（八王子市）で原画展及びトークセッションを実施した（来場者数182名、Facebookライブ動画視聴者約400名、絵本購入者10名）。



会場の様子（大暖簾）



トークセッションの様子

【その他の事業】

事業⑥ 日本遺産サミット・日本遺産PRイベントへの参加

11/13-14 に、石川県小松市で開催された日本遺産サミット in 小松に参加した。PRブースを展開し、商談会へ参加した。

2/11-13 に、東京有楽町駅前で開催予定だった日本遺産の日イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントブースの設置は中止となり、オンライントークセッション及び駅前に動画を流すモニターを設置するにとどまった（BS-TBS で放映した《日本遺産》のダイジェスト版（3分）の動画を提供した）。



事業⑦ 九州沖縄連携

九州沖縄連携が長らく停止していたため、情報交換会の幹事を申し出て、九州連携が必要な理由、進むべき方針についての摺り合わせを実施した。R4年度には日本遺産フェスティバル in 関門を控えており、活動方針をある程度固めていく必要がある。

日本遺産サミット in 小松において、日本遺産認定地域のブロック制が提起され、くにさきについても九州沖縄ブロックに位置付けられた。ブロック制の先進例として、九州沖縄連携の取組を強化していきたい。

なお、令和4～5年度のブロック長は、宮崎県西都市等の南国宮崎の古墳景観活用協議会が務めることに決まっている。

- ・第1回日本遺産九州沖縄連携情報交換会（Zoom・10/15 野崎、松本）
 - ・第2回日本遺産九州沖縄連携情報交換会（日本遺産サミット in 小松・11/13 野崎、松本）
 - ・~~日本酒テイastingバー=百葉コラボ=九州沖縄連携イベント（福岡春吉・1/21～22 野崎、松本）~~
- ※九州連携でのイベント実施を企画したが新型コロナウイルスの感染拡大により延期に。

事業⑧ 出前講座

地域の小中学校に向けた出前講座、一般向けの講座を実施し、日本遺産及びその内容についての普及啓発を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、外部講師を呼んだ講座を控える学校・団体が多く、今年も講座の回数は増えていない。

別府大学のオムニバス授業「環境歴史地理論」において、日本遺産を活用した地域づくりについて講義したり、SDGsとの関連から持続可能な地域づくりに関する講座を実施したりした。

【学校を対象とした講座の実績一覧】

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| ・日本遺産に関する出前講座（6/22・高田小学校6年） | 講師：事務局 松本 |
| ・日本遺産に関する現地見学（6/30・府内学園） | 講師：事務局 松本 |
| ・豊後高田市の名勝と日本遺産現地見学（7/11・別府大学） | 講師：事務局 松本 |
| ・鬼会の里修学旅行対応（10/14・高田小学校） | 講師：事務局 大山・松本 |
| ・別府大学講義「環境歴史地理論」（10/19・26・11/2・別府大学） | 講師：事務局 松本 |
| ・アドベンチャーツーリズムに関するワークショップ（11/14・高田高校） | 講師：事務局 松本 |
| ・日本遺産に関する出前講座（12/22・香々地中学校2年） | 講師：事務局 松本 |

【その他、一般を対象にした講座の実績一覧】

- ・田染地区歴史講座（8/2・田染公民館）
- ・岩手県教委&岩手大 平泉学見学対応（12/11・田染荘小崎）
- ・持続可能な地域づくりと文化財活用について（1/28・真玉庁舎）
- ・田染平野地区サロン（3/17・田染平野公民館）

講師：事務局 松本
 講師：事務局 松本
 講師：事務局 松本
 講師：事務局 松本



高田小学校での出前講座



府内学園の現地見学



香々地中学校での出前講座



別府大学の現地見学



アドベンチャーツーリズムに関するWS

事業⑨ Living History（生きた歴史体験プログラム）促進事業

歴史や伝統文化の再現により、生きた歴史体験プログラムを整備することを目的とした事業。宇佐国東半島を巡る会を実施主体に、宇佐神宮、別府大学、豊後高田市、国東市、宇佐市、それぞれの観光協会が集まって、「放生会」や「修正鬼会」「峯入り」に関する体験プログラムを開発する事業を立ち上げた。

本来、放生会は令和2年に1300年の節目の年を迎えたため、室町時代や江戸時代の記録を使いながら、より古く盛大であった放生会を再現するイベントを9月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の問題もあり、事業が実施できず、令和3年度に繰越となった。

今年度についても当初から計画していた誘客を伴う再現放生会の開催は難しいとの判断になり、当時の様子が分かるようにプログラムを細かく分割した動画制作にとどまった。また、「行道（練り供養）」という行法のため富貴寺の木造仮面の復元レプリカを作成した。

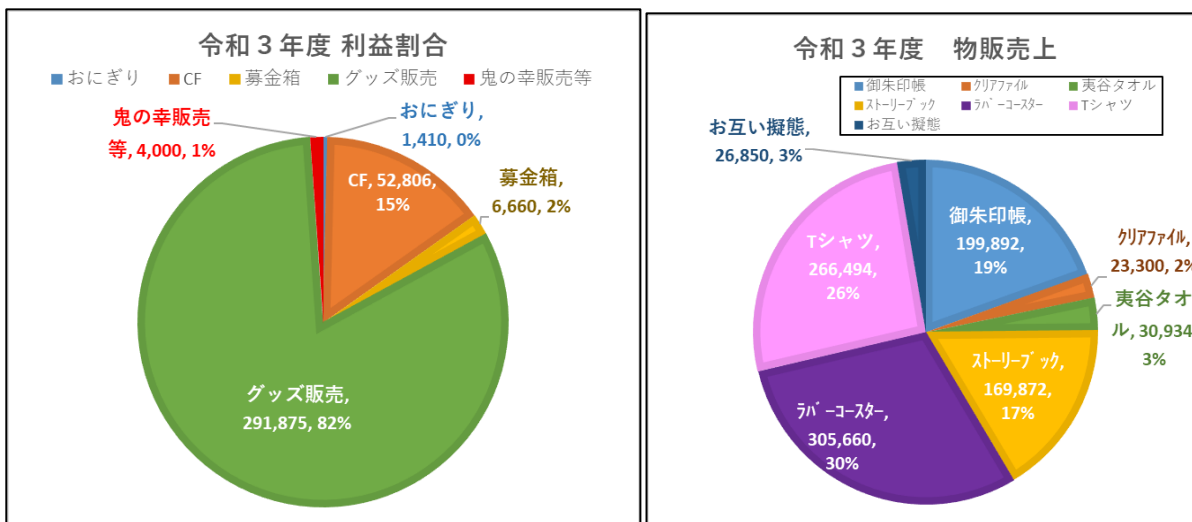


4. 収益化のための事業

○収益化のための事業全体のまとめ

収益化のための事業は、物販事業（グッズ販売／鬼の幸販売）、寄附事業（クラウドファンディング／募金／おにぎりクラウドファンディング）、旅行事業（ガイド料：コロナ禍で未実施）の3部門に分かれて実施している。

令和3年度は、雑入合計が過去最高の1,468,529円となった。



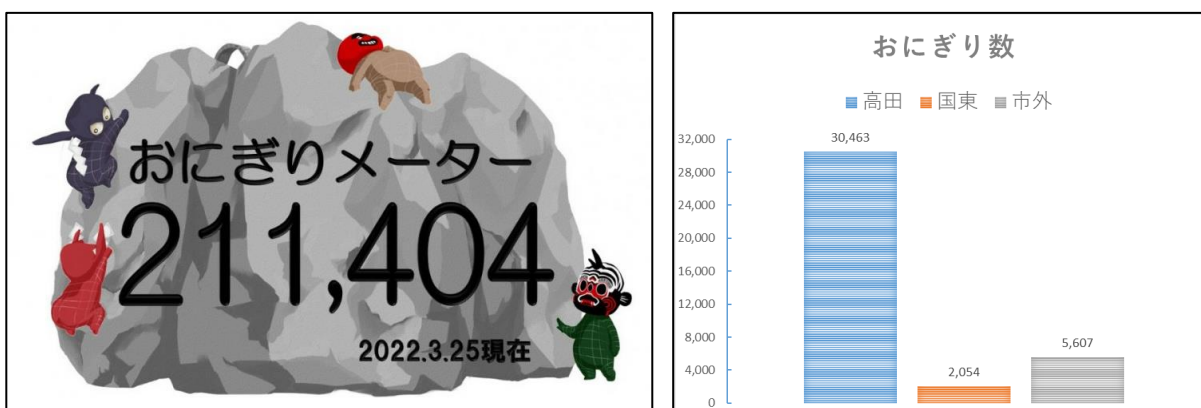
事業⑨ おにぎりクラウドファンディング

エリア内店舗でおにぎりを食べると1円ずつ資金が調達される“おにぎりクラウドファンディング”の取組は継続して実施され、豊後高田市17店舗、国東市2店舗、市外2店舗が協力店舗となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、寄附を集めることが難しくなってしまった店舗が多かったため、かなり実績を落としてしまった。

【協力店舗】

- ・しおにぎり米や ・味処荘園ほたる ・天ぶら志乃 ・豊後高田酒場ヒミツ基地
- ・SOBA CAFÉ ゆうひ ・スーパーバリューまたま ・スーパーかかぢ ・鬼会の里 ・城下町
- ・サンウェスタン ・コレコレ ・彩庵 ・café CACHECACHE ・カフェキブン ・こっとな村
- ・ラーメンカフェ明星 ・里の駅ふるさと市場 R213
- ・スーパーバリューうさ ・あすかうどん赤松峠店

なお、くにさきガチャガチャ作成に関しては、考えられる委託先の工場等がストップしており、増産に関する協議ができていない状況である。



事業⑩ オリジナルグッズ制作事業

令和2年度に開発した新商品としては、びじゅチューントートバッグ（5/10～）谷のエンブレムのラバーコースター（4/9～真玉・国見、8/1～田染増刷、8/6～香々地・武蔵、10/29～都甲・富来・来浦）、文化財デザインTシャツ（真玉海岸④～⑨、12/17～鍋山）、行平伝説手ぬぐい（販売はR4～）となった。

【R3年度 販売に協力いただいた店舗等】

- ・鬼会の里歴史資料館 ・そばCAFÉ ゆうひ ・龍のタカラバコ ・長崎鼻油花 ・夷谷温泉
- ・BAR JAM ・呑もうっちゃ ・旅庵露臺 ・熊野磨崖仏案内所 ・蔵人 ・こっとな村
- ・シーボベジタリアーノふよう ・明屋書店豊後高田店 ・月波や ・豊後高田市まちづくり株式会社
- ・岡部商事 ・富貴寺 ・長安寺 ・真木大堂 ・無動寺 ・胎蔵寺 ・報恩寺 ・椿光寺
- ・国東市観光協会 ・道の駅くにみ ・ヴィラくにさき ・梅園の里 ・ホテルベイグランド国東
- ・福田書店 ・国広書店 ・両子河原座 ・千灯寺 ・岩戸寺 ・文殊仙寺 ・両子寺 ・瑠璃光寺
- ・長慶寺 ・是恒商店（宇佐市） ・汽車ポッポ食堂（中津市）



お互い擬態トートバッグ



ラバーコースター



行平伝説手ぬぐい
（小野豊一氏デザイン）



真玉リレーデザインTシャツ④
（吉松ちぐさ氏デザイン）



真玉リレーデザインTシャツ⑤
（松永昌也氏デザイン）



真玉リレーデザインTシャツ⑥
（岡美希氏デザイン）



真玉リレーデザインTシャツ⑦
(小久保かなた氏デザイン)



真玉リレーデザインTシャツ⑧
(ひらいじんた氏デザイン)



真玉リレーデザインTシャツ⑨
(遠藤一郎氏デザイン)



鍋山（南屏峡）国登録Tシャツ
(モリヤマケイジ氏デザイン)